

ワイドKCEモーニング

【新釈】

Marx

Hurtre

Nietzsche

Aristoteles

# 哲学事典

1

須賀原洋行

Kant

Foucault

Blaise Pascal

Claude Lévi-Strauss

# キルケゴール

Kierkegaard

Adam Smith

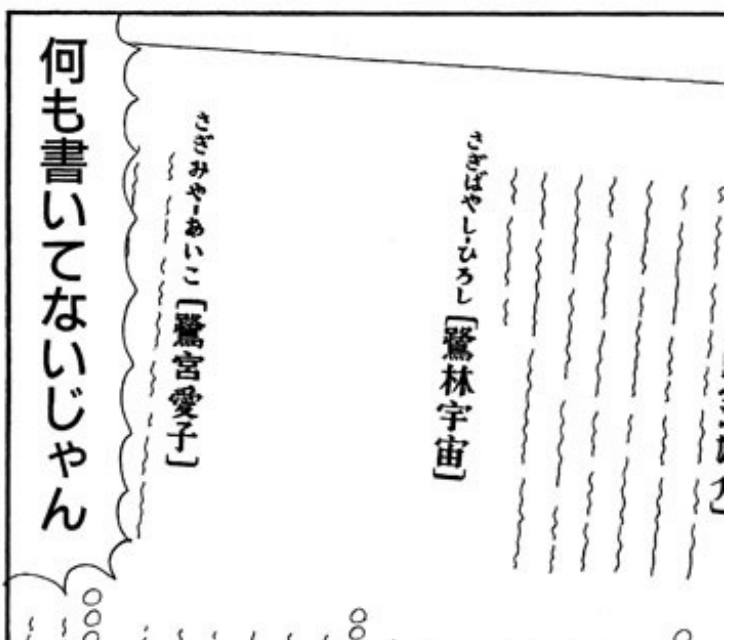
Saussure

Kafka

# キルケゴール 「絶望と生の実存主義」







じゃあ 死んだ人と  
空欄の人の違いは？

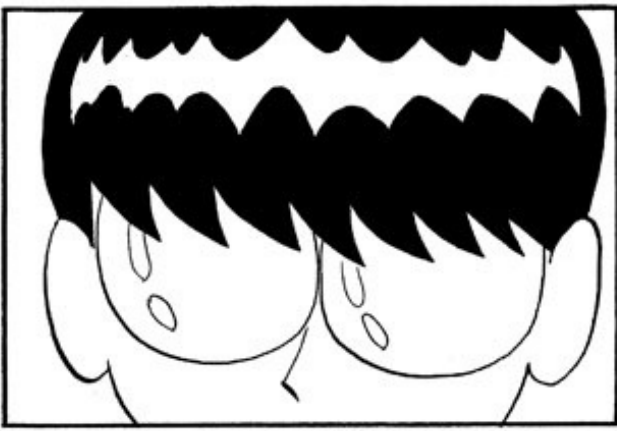


……よくわからないん  
です

実はこういいう空欄が  
この10年くらい  
急増してまして……



自分の生きる  
意味を知れば  
ここから抜け出せる  
かもしれないと  
思ったのに……



俺って小さい頃 将来何になりたい  
とか言ってた？

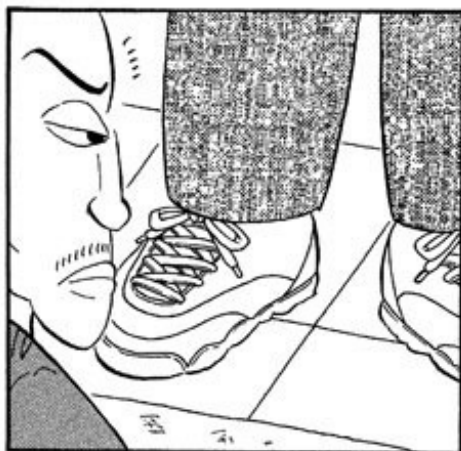
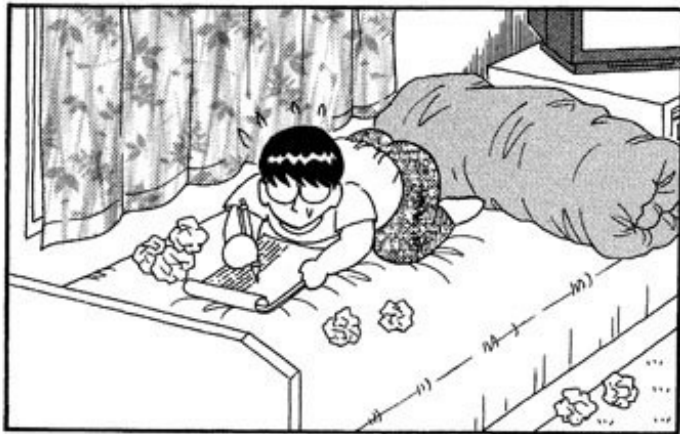
そうだ  
なあ……

小学生の時は消防士に  
なりたいてって言ってなかった？



ごちそうさま







あ昨日は2行だったのが5行に増えてる



それを貼らなくてもすでにあなたの項目には2行ほど本文があらわれてきているんですよ



読みますか?



あなたは現在の生を自分のものにし 能動的に生きようとしているのです だから項目が埋まり始めた



いや...やめとく



知らないほうが人生面白いじゃない

キルケゴール(1813-1855)によれば、人間は絶望する存在だ。そのな。人間は神からあらゆる可能性を与えられてるが、そこから先はなんの手助けもない...。実現するのはあくまで自分自身であるという現実の残酷さ...。絶望...。絶望...。

だが、絶望は人間を自由にもする。野に放り出された人間は自分の「生」の瞬間瞬間を自分自身で選択して生きていくしかない。そこにこそ自由があり個性がある。「絶望」は人間が人間であるがゆえの根本的なエネルギーであり、それと自分の墓穴掘りに使うか「生」に使うかで人生は一変するのである。

